

五藤光学研究所 配給作品

手ぶくろを買いに



対象

ジャンル

投映システム

- 幼児
- こども
- 一般

- 原作もの
- 天文
- 科学全般
- 学習

- スライドのみ
- VTR+スライド
- 簡易全天投映機
- パーチャリウム

- 投映時間：約19分
- 季節：冬季中心
- 制作年度：2011年
- 新美南吉の児童文学がプラネタリウム番組となって登場です。

番組について

だれもが、やさしい絵本の世界に包まれる・・・

「手ぶくろを買いに」は「ごんぎつね」で有名な新美南吉の児童文学の人気作の一つです。小学校の教科書で読まれた方も多いのではないのでしょうか。動物と人間の関係・ふれあいを描いたこの作品をプラネタリウム番組として映像化しました。絵本のようなイラストは子供だけでなく、大人の方もお楽しみいただけます。（作中のイメージとして星空のシーンがあります）

作中に印象的に描かれるのは「街の灯」。子狐には星のようにとても綺麗な光に見え、かつて人間からひどい目にあった母狐には冷たく残酷な光に見えるのです。

やさしさとはなにか、現代人の忘れがちな思いやりやあたたかい心を思い出させる作品です。



あらすじ

ある日、子狐が洞穴から外にでると一面の銀世界。初めて見る雪と戯れる子狐。母狐のもとに戻った子狐は手がとても冷たいと母に訴えます。母狐はかわいそうに思い、手ぶくろを買ってあげようと思い立ちました。夜になり、街まで出かける二匹。

しかし、人間からひどい目にあったことのある母狐は街の灯を見ると怖くなり動けません。子狐の手を片方だけ人間の手に変えると、帽子屋でこの手を出して手袋を買うように言います。しかし子狐は出す手を間違えてしまいました。

子狐は無事に手袋を買うことができるのでしょうか。

キャスト

語り（津賀 有子）

